

事業実施主体等取組評価報告書（産地競争力の強化を目的とした整備事業）

(都道府県名：茨城県)

市町村名	事業実施主体名	政策目的	取組の分類	作物等区分 (対象作物・畜種等名)	政策目標	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況					成果目標の具体的な実績	事業内容	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	
							計画時 (平成16年)	1年後 (平成17年)	2年後 (平成18年)	3年後 (平成19年)	目標値 (平成19年)				達成率	交付金	都道府県費	市町村費				その他
茨城県	茨城県	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	土地型作物(大豆原種)	生産性向上	大豆原種の生産性向上	大豆原種生産の労働時間 270h/10a	232h/10a	207h/10a	208h/10a	209h/10a	101.6%	大豆原種生産の労働時間削減 大豆色選別機(処理能力500kg/h)	3,307,500	1,653,000	1,654,500	0	0	H18.3.17	大豆色選別機を導入することにより、10a当たりの原種生産時間の短縮を図ることができた。	同左	
鹿嶋市	J.Aしおさい	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	水稲	生産性向上	共同防除実施者のうち米品質分析(タンパク質含量・食味値)の実施生産者の割合が80%以上	31.4% (22戸)	31.4% (22戸)	38.6% (27戸)	68.6% (48戸)	85.7% (60戸)	68.4%	共同防除実施者のうち米品質分析(タンパク質含量・食味値)の実施生産者の割合68.6%	10,479,000	3,326,000	0	0	7,153,000	H18.3.28	分析実施者は48名であり、目標に対し80%の達成に留まった。共同防除の効果も表れており、この結果を踏まえ、周辺地区における高品質米生産の取り組みが期待できる。なお、平成21年には目標数値の90%は達成できる。	受益地区における1等米比率が向上した。共同防除の効果も表れており、この結果を踏まえ、周辺地区における高品質米生産の取り組みが期待できる。なお、平成21年には目標数値の90%は達成できる。	
常総市 (石下町)	古岡木自給飼料増産組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	飼料作物(トウモロコシ、ソルゴー)乳用牛	生産性向上	【飼料増産】飼料作付面積の増加	トウモロコシ 5ha	トウモロコシ ソルゴー 10.8ha	トウモロコシ ソルゴー 11ha	トウモロコシ ソルゴー 11ha	トウモロコシ ソルゴー 10.8ha	103.4%	細断型ロールペール機械体系の導入により飼料増産が図られた。	9,602,250	3,875,000			5,727,250	H17.8.30	細断型ロールペールによる自給飼料生産体制が整備によって作業の省力化が図られ、飼料作物の作付が11haに拡大された。	事業計画に基づき自給飼料の安定した生産が図られた。	
小美玉市	美野里酪農協同組合	産地競争力の強化	多目的農作業コントラクター育成	飼料作物(トウモロコシ、ソルゴー)及び野菜乳用牛	生産性向上	【多目的農作業コントラクター育成】(飼料作物)農作業受託面積の増加	トウモロコシ 野菜 329ha	トウモロコシ ソルゴー 野菜 330ha	トウモロコシ ソルゴー 野菜 353.1ha	トウモロコシ ソルゴー 野菜 344.1ha	トウモロコシ ソルゴー 野菜 363.1ha	44.3%	農作業受託面積が4.6%増加した。	4	6,709,500	3,195,000	0	0	3,514,500	H18.1.10	種々のPR活動により耕種農家の継続的な堆肥散布の利用を定着化させることが出来た。	事業主体は、飼料増産重点地区であり、344.1haの受託面積は、堆肥利用の定着化が図られたと判断できる。しかし、増加割合としては、目標達成ができなかったため、今後は、実証展示や地域内での回覧及び折り返し等のPR活動を通して、散布受託面積の拡大を図る。
小美玉市	常陸小川農協	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	野菜(いちご)	品質向上	【野菜】(高付加価値化)いちごについて、全量を予冷出荷することにより、高品質化を図る。	0t	0t	185t	172t	241t	71%	予冷出荷量が172t拡大した。	4,966,500	2,000,000			2,966,500	H18.3.27	予冷施設の導入により、鮮度管理ができ、各市場で有利販売につながった。計画時より廃棄する農家がなかったため、今後は、実証展示や地域内での回覧及び折り返し等のPR活動を通して、散布受託面積の拡大を図る。	目標は達成できなかったものの、予冷出荷により品質向上は図られており、事業の効果は発生している。	
鉾田市	かしまだ農協	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	野菜(みずパセリ・大葉等)	品質向上	【野菜】(高付加価値化)みずパセリ・大葉等(薬物類)について、全量を予冷出荷することにより、高品質化を図る。	0ケース	0ケース	1,166,826ケース	1,121,218ケース	518,000ケース	216%	薬物類の予冷出荷量が1,121,218ケース拡大した。	144,256,350	68,693,000			75,563,350	H18.3.31	真空予冷処理したことにより、品質を達成でき、薬物類の予冷出荷をすることで、品質の向上に繋がっている。	目標を達成でき、薬物類の予冷出荷をすることで、品質の向上に繋がっている。	
桜川市	新桜川グリーンファーム	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	輸入急増野菜(トマト)	輸入急増農産物における国産シェアの奪回	【輸入急増野菜】(高品質化)当該品目高品質(高糖度)トマト生産の取り組み割合を30%とする	-	-	82%	81%	糖度9度以上の生産割合30%	270%	生産技術高度化施設・低コスト耐候性ハウス及び設備一式5棟 総面積 341,129㎡ ・簡易隔離ベトナムハウス一式38,848㎡	435,777,149	¥200,000,000			235,777,149	H18.7.20	市場から求められる大きさ(M・S級)かつ、糖度が9度以上の高糖度1tを栽培する技術の確立ができた。	目標を達成でき、全国でも有数の高糖度トマトの産地となった。	
境町	若林野菜出荷組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	輸入急増野菜(ねぎ)	輸入急増農産物における国産シェアの奪回	【輸入急増野菜】(低コスト化)当該品目の生産コストを20%削減する。	330円/kg	305円/kg	303円/kg	285円/kg	264円/kg	68%	ねぎ野菜栽培の生産コストが14%削減された。	10,800,000	5,040,000			5,040,000	H18.3.29	機械の導入による労働時間の削減が図られ、コスト削減の効果が見られる。	目標は達成できなかったものの、機械導入によるコスト削減が図られており、事業の効果は発生している。	
行方市	なめがた農協	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	野菜(キュウリ、トマト)花き(バラ)	生産性向上	施設園芸栽培における燃油の使用量の削減	10aあたり 9,500L	10aあたり 9,500L	10aあたり 8,080L	10aあたり 8,090L	10aあたり 8,550L	148%	燃油使用量が15%削減された。	2,277,902	1,084,000			1,193,902	H18.3.31	燃油消費量の減少目標を達成でき、生産経費の削減ができた。	目標を達成でき、燃油の消費量を削減できた。	
古河市	茨城むつみ農協三和地区花き専門部会バラ専門部会	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	花き(バラ)	生産性向上	施設園芸栽培における燃油の使用量の削減	10aあたり 25,000L	10aあたり 25,000L	10aあたり 24,604L	10aあたり 24,820L	10aあたり 22,000L	6%	燃油使用量が1%削減された。	8,168,181	4,084,000			4,084,181	2006/3/28	効率的な温度管理が可能となり燃油使用量の削減ができた。	目標は達成できなかったものの、燃油の使用量の削減に繋がっており、事業の効果は発生している。	
茨城町	南茨城県中央食肉公社	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	食肉(牛、豚)	生産性向上	と畜頭数の増加	1,246頭/日	1,205頭/日	1,473頭/日	1,508頭/日	1,624頭/日	69%	部分肉処理施設の誘致により、と畜頭数が増大した。	241,395,000	76,633,000			164,762,000	H18.3.31	事業の実施により冷蔵保管能力が向上し、高品質技術の供給が可能となったが、豚のと畜頭数が当初計画通りに伸びなかったことから、今後は、銘柄豚等生産者団体への働きかけを強化するなど集荷活動を推進する。	成果目標を達成するため、銘柄豚等生産者団体への働きかけを強化するほか、大規模生産者や買参人の確保に努めるなど様々な形でと畜頭数の拡大を進める必要がある。	